

ふれあい通信

台風シーズンの到来に備えて

昨年の相次ぐ台風により、町内全域で甚大な被害が発生しました。今年に入って新型コロナウイルス感染症の問題が浮上し、私たちの生活は一変しました。また、梅雨前線が停滞し、九州地方を中心に各地で大雨による甚大な被害が発生しました。今は、いつ、どこで、何が起こるか予測が難しい時代となっています。これから台風シーズンに入るわけですが、皆さまには万が一の災害に備えての心構えや対応を、日頃から地域で、あるいは家庭で確認し合っていたいただきたいと思えます。

感染の再拡大

危機感を持って行動を

さて、新型コロナウイルス感染症が東京を中心に再び拡大しています。緊急事態宣言が解除され、自粛ムードが緩和されたのもつかの間で、拡大に歯止めがかかりません。また新たな問題として私たちの生活にのしかかってきました。

そんな中、本町でも1人の感染者が確認されました。感染された方には、治療に専念し、早く元の生活に戻れることを願っています。

新型コロナウイルスは感染力が強く、感染すると急変して重症化することもあり、また後遺症もあるという大変恐ろしいウイルスだということはご案内のとおりです。皆さまには、どうか油断することなく、常に危機感を持って行動していただきたいと思えます。「3蜜」を避け、マスク着用や手洗など、新しい生活様式を取り入れての生活に慣れていただきたいと思います。

新たな支援事業

6月号の広報で新型コロナウイルス感染症に関する支援策について述べましたが、国の1人当たり10万円の給付事業は、一部を除きほぼ完了しています。児童手当に1万円を上乗せする事業は完了しました。

町の独自支援策の8事業については、順調に推移しているところです。今般、国は更に臨時交付金の拡充を図りました。第2次配分として、本町では2億6百万余の配分額が示されました。郡内6町村の中では最も大きい額となっています。町では、この交付金を活用して、15の事業を計画しています。

その主なものですが、①新しい生活様式の中で毎日の検温を習慣づけていただくため、簡単に素早く正確に測定できる非接触型体温計を全世帯に配布します。②地域経済を応援



長南町長
平野 貞夫



するため、町内で使える1人1万円の地域応援券を全住民に配布します。③在宅で過ごす重度心身障害者への支援として1人5万円を給付します。④妊婦さん等への支援として、本年4月28日から令和3年3月31日までに出産された(する)方、または6月30日までに妊娠届を出された方に10万円を給付します。⑤小中学校の感染症の予防対策として、毎日の学校施設の消毒、清掃業務を業者委託します。⑥町の公共交通機関として地域を支えているバス事業者、およびタクシー事業者に支援金を給付します。⑦接触機会を減らし、機械の省力化を促進するための農業用ドローンの整備に助成します。

その他、災害時の避難所の衛生環境整備事業や、ICT、オンラインを活用した学習環境の整備事業などを考えているところです。これらの事業は、7月末の臨時議会で審議される補正予算の可決を待って執行してまいります。

今後も、感染症対策には全力で取り組んでまいりますので、皆さまの一層のご理解ご協力をお願いいたします。